

難聴特別支援学級等担当者学習会を 行いました



みみの助

きこえとことばの支援センターでは、毎年5月と8月に県内の聴覚障がい児に関わる方を対象に、難聴特別支援学級等担当者学習会を開催しています。2回行った学習会は、難聴児を担当されている先生が日頃の指導の悩みを共有し、みんなで解決してく方向を探る場となりました。

第1回は5月22日（水）に行いました。内容は、岐阜聾学校の見学、当校職員による聴覚障がいについての講話、参加者の交流会です。学校の見学では幼稚部から高等部までの授業や活動の様子を見ていただきました。参加者からの感想です。

校内見学について

- ・児童の反応をしっかり受け止め、指導されているところが勉強になりました。
- ・発達段階に応じた環境づくり、支援がなされていることが分かりとても良かったです。
- ・何について説明しているか、見ても分かるように配慮され、一人一人に伝わるような配慮が大切だと教えてもらうことができました。

講話について

講話①「岐阜聾学校の自立活動について」

- ・自立活動について悩んでいたのもので、とても参考になりました。
- ・参考になる資料の紹介も多く、助かりました。

講話②「きこえにくさとその支援について」

- ・はじめて聴覚障がいの子の担当をするので、支援方法を学ぶことができて良かったです。
- ・きこえの体験をすることで、より理解が深まりました。



交流会について

- ・同じような状況の先生方と悩みや実践している工夫について共有することができました。
- ・悩みを気軽に相談でき、とても有意義でした。
- ・聾学校の先生の実践に基づくお話も、なるほど!と思うことが多くありがたかったです。
- ・個それぞれへの対応が大切だと思いました。



第2回は8月22日(木)に行いました。内容は、愛知県立千種聾学校ひがしうら校舎の高山美代子先生から通級指導の実際について講話をいただき、その後、交流会を行いました。参加者からは次のような感想をいただきました。

講話について

- ・質問に対して、高山先生が明確に回答してください、大変勉強になりました。
- ・高山先生が取り組んでいらっしゃるアンケートを自分なりに作成してみて、児童に回答してもらい、児童の聞こえの状況や困り感を把握したいと思いました。
- ・児童自身が、本人の困り感や、こうしてほしいということを伝える取組もしていきたいと思っています。



交流会について

- ・自分が日頃困っていることや、分からないことを教えていただくことができ、とてもありがたかったです。また学校同士がつながる交流の場を設けていただけたのも、とてもありがたかったです。



- ・県内の難聴学級の先生同士が集まる研修の機会は少なく、大変貴重な機会です。とてもリラックスした雰囲気です。楽に自分たちの困りごとを話せる場を提供していただき感謝です。また、聾学校の先生から専門的なアドバイスを聞くことができ、毎年刺激になります。